

文章題の
正しい解き方ドリル5年
おかわり問題 解答解説

①小数のかけ算、小数のわり算

- 1 [式] $51 \div 34 = 1.5$ [答え] 1.5倍
 2 [式] $24 \times 1.25 = 30$ [答え] 30cm
 3 [式] $50 \div 9.5 = 5$ あまり2.5
 [答え] 5個できて、2.5cm あまる。
 4 [式] $4.5 \div 2.5 = 1.8$ [答え] 1.8倍

ポイント

- 1 箱Bの重さ「51kg」が比べられる量で、箱Aの重さ「34kg」がもとにする量なので、51を34でわります。
 2 赤いリボンの長さ「24cm」がもとにする量で、その「1.25倍」が青いリボンの長さなので、24に1.25をかけます。
 3 「50cm」が全体の量で、1個分に使う量が「9.5cm」なので、50を9.5でわります。アクセサリーの個数を求めたいので、商は整数で求め、あまりを出します。
 4 家から図書館までの道のり「4.5km」が比べられる量で、家から駅までの道のり「2.5km」がもとにする量なので、4.5を2.5でわります。

②単位量あたりの大きさ

- 1 [式] $(12 + 20 + 15 + 8 + 16) \div 5 = 14.2$
 [答え] 14.2題
 2 [式] $20 \times 7 = 140$ [答え] 140ページ
 3 [式] ガムA $450 \div 9 = 50$
 ガムB $720 \div 12 = 60$ [答え] ガムB
 4 [式] $80 \div 2.5 = 32$ [答え] 32分

ポイント

- 1 解いた問題数の合計を求め、日数の「5日」でわります。 $12 + 20 + 15 + 8 + 16 = 71$ なので、71を5でわります。
 2 1日に平均「20ページ」読むので、1週間は「7日間」だから、20に7をかけると1週間に読む合計のページ数が求められます。
 3 1個あたりのねだんで比べます。ガムAは「9個」で「450円」だから、1個あたりのねだんは450を9でわると求められます。また、ガムBは「12個」で「720円」だから、720を12でわると求められます。ガムAは1個あたり50円、ガムBは1個あたり60円だから、高いのはガムBとなります。
 4 1分間あたりの量が「2.5L」で、水そう全体の量「80L」なので、80を2.5でわります。

③速さ、分数と小数

- 1 [式] $144 \div 2 = 72$ [答え] 時速72km
 2 [式] $6000 \div 120 = 50$ [答え] 50分
 3 [式] $12 \div 15 = \frac{4}{5} = 0.8$
 [答え] 分数… $\frac{4}{5}$ 倍 小数…0.8倍
 4 [式] $3 \div 4 = 0.75$ [答え] ひもBが長い。

ポイント

- 1 (速さ) = (道のり) ÷ (時間)です。道のりが「144km」で、時間が「2時間」なので、144を2でわります。
 2 (時間) = (道のり) ÷ (速さ)です。道のりが「6km」で、速さが「分速120m」です。6km = 6000mなので、6000を120でわります。
 3 比べられる量が便せんのまい数の「12まい」、もとにする量がふうとうのまい数の「15まい」なので、12を15でわります。
 4 ひもBの長さを小数で表して、ひもAと長さを比べます。ひもBの長さは、分子「3」を分母「4」でわると、小数で表すことができます。

④分数のたし算とひき算、百分率

- 1 [式] $1\frac{2}{3} - 1\frac{1}{2} = 1\frac{4}{6} - 1\frac{3}{6} = \frac{1}{6}$
 [答え] $\frac{1}{6}$ m
 2 [式] $1\frac{1}{2} - \frac{2}{3} + \frac{4}{5} = \frac{45}{30} - \frac{20}{30} + \frac{24}{30} = \frac{49}{30}$
 [答え] $\frac{49}{30}$ (1 $\frac{19}{30}$) L
 3 [式] $180 \div 240 = 0.75$
 $0.75 \times 100 = 75$ [答え] 75%
 4 [式] $14 \div 0.4 = 35$ [答え] 35人

ポイント

- 1 帯分数をふくむ、分母がことなる分数で表された2つの量の差を求めます。「 $1\frac{2}{3}$ m」が全体の長さで、使った長さが「 $1\frac{1}{2}$ m」なので、 $1\frac{2}{3}$ から $1\frac{1}{2}$ をひきます。
 2 3つの分数のたし算とひき算がまじった計算は、たすのか、ひくのかを考えて式を立てましょう。
 3 比べられる量が「180ページ」で、もとにする量が「240ページ」なので、180を240でわります。百分率(%)で答える問題なので、求めた小数に100をかけます。
 4 比べられる量が「14人」で、割合が「40%」なので、14を0.4でわると、もとにする量の「クラスの人数」が求められます。